

教育目標・明るく 正しく たくましく

【経営の理念】

「子ども一人ひとりの考えや生き方を大切にする学校」

～地域の願いを理解し、全職員で子どもの声に耳を傾け、成長に寄り添っていく～

めざす学校像1 子どもを取り巻く問題を授業で解決する学校

めざす学校像2 SimpleでSlimな学校

【経営の概要】

《 学校づくりのねらい 》

子ども一人ひとりの考えや生き方を大切にする学校づくりと、話し合いを軸とした授業実践をとおして、よく考えてねばり強く取り組む子どもを育成する。

＜話し合いを軸とした授業の学び方＞

自分で考えること 自分の考えを伝えること 大人から学ぶこと

めざす子ども像

- ・いつも明るく元気な子ども
- ・助け合い、気づき、考える子ども
- ・健康で、最後までねばり強くやりぬく子ども

木曾の自然や人との関わりを最大限に生かし、自己決定できる子どもを育てる

教育課題

自分で考え、自分で決められる子どもを育てる

《 教育課題と重点 》

（重点1・多様な授業の推進）

高学年の一部教科担任制、中学年の算数少人数学習に加え、学年授業を取り入れ、自由進度学習の研究を進め、自律的に学ぶ子どもを育てる。

（重点2・生活・総合的な学習の時間の充実）

地域学習を中心にした生活・総合的な学習の時間を、各クラスで出合わせたい地域の大人を設定した年間計画を立てて取り組む。学習を通して地域の大人と関わり、人を通して福島のよさを学ぶ。

（重点3・自主学習の推進）

家庭学習に自主学習を取り入れ、連学年で内容等を考え、子どもが自分から進んで選んで計画的に取り組む家庭学習を目指す。

○ 考え方を学ぶ学習システム

研究テーマ「考える子どもを育てる授業」に沿った自己課題をもとに、自主的な一人一公開授業を通して具体的な取り組みとして提案する。

○ 地域、保護者との協働システム

木曾福島型コミュニティスクールを基盤に、生活科や総合的な学習の時間などで大人から学ぶ機会を積極的に設けていく。

○ 授業力を高める研修システム

重点研究グループを中心に日常的に授業を見合い、職員研修係を中心に、それぞれの得意なことをもとに研修し、互いに高め合う職員集団をつくる。年間計画に職員研修の時間を設定し、係が生方のニーズに応じた内容を計画する。

《 教育システム 》